

# 仕 様 書

## 1 件名

さいたま市消防署所事業系一般廃棄物等収集運搬業務（北部地域）

## 2 履行場所（事業系一般廃棄物等収集場所）

- |                   |                             |
|-------------------|-----------------------------|
| (1) 西消防署          | さいたま市西区西大宮 3 丁目 4 8 番地      |
| (2) 西消防署西遊馬出張所    | さいたま市西区西遊馬 3 0 7 番地 1       |
| (3) 北消防署          | さいたま市北区宮原町 4 丁目 6 6 番地 1 4  |
| (4) 北消防署植竹出張所     | さいたま市北区植竹町 1 丁目 8 2 0 番地 1  |
| (5) 大宮消防署(防災センター) | さいたま市大宮区天沼町 1 丁目 8 9 3 番地   |
| (6) 大宮消防署氷川参道出張所  | さいたま市大宮区吉敷町 1 丁目 1 3 6 番地 1 |
| (7) 大宮消防署大成出張所    | さいたま市大宮区大成町 1 丁目 2 2 6 番地   |
| (8) 見沼消防署         | さいたま市見沼区大字片柳 1 0 8 7 番地 1   |
| (9) 見沼消防署春野出張所    | さいたま市見沼区春野 2 丁目 6 番 1 号     |
| (10) 見沼消防署蓮沼出張所   | さいたま市見沼区大字蓮沼 2 6 7 番地       |
| (11) 岩槻消防署        | さいたま市岩槻区大字岩槻 5 0 6 4 番地 1   |
| (12) 岩槻消防署太田出張所   | さいたま市岩槻区太田 1 丁目 2 番 1 1 号   |
- ※令和 8 年 9 月末まで予定。10 月以降は以下(14)に移転予定。
- |                 |                           |
|-----------------|---------------------------|
| (13) 岩槻消防署上野出張所 | さいたま市岩槻区上野 4 丁目 6 番 2 1 号 |
| (14) 岩槻消防署城南出張所 | さいたま市岩槻区城南 1 丁目 2 番 3 号   |
- ※令和 8 年 3 月竣工予定であり、10 月より供用開始予定。（上記(12)より移転予定）

## 3 履行期間

令和 8 年 4 月 1 日 から 令和 9 年 3 月 3 1 日 まで

## 4 業務概要

本業務は、2 に示す、消防署所が排出する事業系一般廃棄物及び資源物（ペットボトル等）について、各保管場所からさいたま市が指定した処理施設まで収集運搬するものである。

## 5 一般事項

- (1) 受託者は、さいたま市一般廃棄物収集運搬業の許可を有し、かつ必要な事業範囲を証するものとして、さいたま市一般廃棄物処理業許可証の写しを提出する。
- なお、許可事項に変更があったときは、委託者へ速やかに報告し、変更後の許可証の

写しを提出すること。

- (2) 受託者は、業務を円滑に実施するため業務責任者を定め、委託者に届け出ること。
- (3) 業務責任者は、委託者との連絡、報告、調整を行い収集運搬作業員の指導、支障の解消等を行うこと。

#### 6 事業系一般廃棄物等の種類・年間予定数量

種類	予定数量 (Kg)	収集回数	処理施設
可燃物	42,000	週3回	市環境センター
古紙	5,000	月2回	リサイクル施設
紙くず	2,000	月2回	市環境センター
ビン類	500	月2回	リサイクル施設
缶類（飲料缶に限る）	2,500	月2回	リサイクル施設
ペットボトル（資源物※）	2,500	月1回	リサイクル施設
剪定枝等の木くず	2,000	年間6回程度	処分業許可業者

※ 資源物については、原則市内の資源化施設に搬入とする。ただし、資源化施設に搬入が困難な場合は市外搬出処理するものとし、受託者は廃棄物対策課及び関係自治体との必要な手続きを行うものとする。

※ ビン類、缶類及びペットボトルについては、産業廃棄物処理委託契約書等を必要数作成すること。それぞれ記名押印の上、各自1通を保有する。

#### 7 業務計画

受託者は、契約締結後、必要な事項を記載した業務計画書を委託者に提出すること。  
なお、業務計画書の内容については、事前に委託者と協議すること。

#### 8 遵守事項

- (1) 受託者は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）、関係法令、条令、規則等（以下「法令等」という。）を遵守して事業系一般廃棄物等の収集運搬を行わなければならない。
- (2) 受託者は、さいたま市から処理を委託された事業系一般廃棄物等を、その積み込み作業の開始から、処理施設への搬入まで、法令等に基づき適性に運搬しなければならない。この間に発生した事故については、さいたま市の責に帰すべき場合を除き、受託者が責任を負うものとする。
- (3) 受託者は毎月の業務終了後、速やかに署所ごと、品目ごとに事業系一般廃棄物等の収集運搬の数量を一覧表にまとめ完了報告書に添付し、委託者に提出すること。  
なお、当該一覧表については、各署所担当者の署名を受けるものとする。
- (4) 剪定枝及び刈草については、焼却処分せずに、市内の一般廃棄物処分業許可業者によりリサイクルすること。また、履行署所ごとの「処分量等が確認できる報告書」及び当該許可業者が発行する「計量証明書」等を業務完了報告書に添付すること。

## 9 費用負担

業務の実施に必要な車両、機材等に係る費用及び委託者の指定の処理施設に支払う費用は、全て受託者が負担すること。

## 10 危険防止の措置

- (1) 業務を実施する際は、常に整理整頓を行い安全管理には十分注意すること。
- (2) 業務を行う場所若しくはその周辺に第三者が存する場合又は、立入るおそれがある場合には、危険防止に必要な措置を委託者に報告のうえ、当該措置を講じ、事故発生を防止すること。

## 11 事故報告

受託者は、作業中に事故が発生した場合、速やかに委託者へ報告すること。

## 12 秘密保持

受託者は業務上、知り得た委託者の秘密事項を第三者に漏らしてはならない。このことは、契約の解除後及び期間満了後においても同様とする。

## 13 委託料の支払

さいたま市業務委託契約基準約款第20条第3項に基づき、本業務の支払回数は6回払とし、奇数月の完了報告書の検査合格後とする。

## 14 その他

- (1) 岩槻消防署太田出張所は、令和8年9月末で履行場所から除外する予定。岩槻消防署城南出張所は令和8年3月竣工予定であり、供用開始を予定している令和8年10月から履行場所に含むものとする。
- (2) 各出張所（2 履行場所の(2)、(4)、(6)、(7)、(9)、(10)、(12)、(13)、(14)）については、災害出場等により一時的に施設が無人となることがある。無人となっていたことで事業系一般廃棄物や資源物の収集ができなかった場合は、収集について委託者と調整をはかることとする。
- (3) 本仕様書に記載されていない事項、法令等により義務付けられている事項及びその他の事項について、軽微な変更など業務上、当然に必要な事項となるものは、本業務に含まれるものとする。
- (4) 契約内容等に疑義が生じた場合には、委託者と受託者双方で協議し、取り決めるものとする。

15 人権尊重に関する特記事項

受託者は、業務を履行するにあたり、人権の尊重を基本とするとともに、人権に関する社員研修の実施等により、業務従事者が人権に配慮することができるよう努めること。